

# 中部日本ニュース

シネスコ版

高知新聞 222 16306 本編同レ  
 新愛媛新聞 222 16134  
 中ノ新聞 222 16147  
**No. 471** 38.1.25 (本編トップへ追加)  
 角野い近代消防士初式 広島 119

## 一、雪の薬師に帰らず (通片)

—愛大生十三名遭難

北アルプス薬師岳二九六二米で愛知大学山岳部員十三名が一月二日以来消身を断ちました。現地は北アルプスでもっとも深いところだけに大変な豪雪。地元名古屋から急行した百人に及ぶ大捜索隊も、雪の中で身動きがとれません。そこで史上初という大規模な空からのそうさくが続けられました。一月二十三日になりようやく、北アルプスをおおっていた雲がはれ生存の望みを託していた頂上近くの小屋がみえましたが、人影一つなく、十三名の生命も絶望視されています。

## 一、海を行くヘテロ (脚野・利山)

—大阪

海をゆくヘテロそれは日本でただ一隻の伝道船直光丸の人びとです。船長の馬野さんたち三人は大阪府泉佐野の漁師でしたが家業をなげうってこの道に入ったもの。家族をもちすでに三十歳だった馬野さんにとって航海士の勉強は大変な労苦でした。

そうした熱意はノルウェール教会の人びとを感動させ、立派な伝道船をみせました。

この船の仕事は大坂湾の漁師町をめぐる、神の教えを広めるものです。こうして今日も馬野さんたちは伝道へ船を出すのです。

カメラ・ルポ

## 一、港湾パトロール (山田・後中)

—名古屋

このほど名古屋港で大規模な海上消火訓練が行われました。これは昨秋の京浜運河のような大惨事を二度と繰り返すまいと、名古屋海上保安部が中心になって行ったものです。貿易の自由化や、中京工業地帯のめざましい発展により最近の名古屋港は船の出入りが大変激しくなってきました。

この港をまもるのが海上保安庁のパトロール隊。日の出前から深夜まで港湾パトロールに忙しい毎日を送っています。この人達の仕事は、海の交通整理ばかりか、密輸密漁のとりしまり、船内の急病人の救助までうけています。それだけに一刻も休むことはできず、四六時中広い海に目を光らせています。

222 16306

249 16134

180 16147

643